

2025年12月11日

京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために
「異常時総合訓練」を実施しました
突発的に発生した竜巻による脱線事故を想定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)では、2025年12月11日(木)に宗吾車両基地(千葉県印旛郡酒々井町)において「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、12月10日(水)から始まる「年末年始輸送安全総点検」の一環として、社員一人ひとりの安全意識の高揚を図るとともに、多くのお客様がご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時における迅速な対応力・技術力の向上を目的として、毎年この時期に実施しています。

詳細は、以下の通りです。

1. 日 時 2025年12月11日(木) 9時00分～12時30分
2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
【所在地】千葉県印旛郡酒々井町下岩橋
3. 参 加 者 京成電鉄、京成建設、佐倉警察署、酒々井消防署
日本盲導犬協会、大学コンソーシアム市川、国際医療福祉大学
合計 200 名

4. 訓練概要

【想定】

突発的に竜巻が発生し、この影響で京成臼井～京成佐倉駅間走行中の列車が踏切道付近で倒壊した家屋の瓦礫に乗り上げ脱線、レールが損傷。さらに、踏切遮断機と付近線路脇柵の倒壊および電車線の断線が発生。

【内容】

- (1)災害現場(脱線・電車線断線等)における復旧作業
- (2)災害対策本部・現地対策本部の設置や関係各所との連携
- (3)ドローンを使用した災害現場の状況確認
- (4)点検箇所から災害対策本部へのリアルタイムでの情報伝達
- (5)乗務員による列車防護、車椅子や白杖をご利用のお客様を含む旅客の避難誘導
- (6)警察・消防との連携(脱線現場での現場整理、負傷者救護)

5. 訓練の様子



電車線復旧訓練



信号機倒壊復旧訓練



当社社員と救急隊による避難誘導



ドローンでの被害状況確認



軌道復旧訓練



脱線復旧訓練

以上